

給食だより

令和4年11月

佐呂間町学校給食センター

発行者：栄養教諭

佐呂間の地場産物を味わおう！

～給食に関わっている地域の方々をご紹介します～

佐呂間町の給食はたくさんの地域の方々のおかげで、「地産地消」を進めることができます。

(地産地消とは、地域で生産された農林水産物(地場産物)を地域で消費する取り組みのことです。)

今月のお便りは11月の給食に使用する佐呂間町の地場産物と生産者様、提供者様について紹介させていただきます。

株式会社 **堀切商店** 様より、
ほたて貝柱 をいただきました！



堀切商店様は、オホーツク海産の帆立やサロマ湖産の牡蠣などのおいしい海産物を全国に販売している佐呂間町の会社です。

今年度も堀切商店様より、オホーツク海産の帆立を無償提供していただいています。おいしく高級なほたてを給食でたっぷり使うことができ、とても助かっています。今月9日に「帆立カレー」や「どさんこ汁」にも帆立をたっぷり使用します！



トップファームグループ
TOPFARM GROUP

協力により、**サロマ黒牛(交雑種)ヒレ肉** をいただきました！



今年度もトップファームグループ様に声をかけいただき北海道産牛肉消費拡大事業を使用し無償でお肉の中でも高級な部位である牛ヒレ肉を提供していただきます。(11月16日使用予定)

また、今回の事業以外にも給食では牛肉を安く提供していただき、現在年6回牛肉を給食に使用することができます。



JAサロマ 様より、

乳製品

をいただき、

今月野菜は、**じゃがいも・かぼちゃ** を安くいただいています。



今年度も乳製品(牛乳・ヨーグルト・バター・チーズ・スキムミルク等)を無償でいただいています。子供たちはカルシウムなどの栄養素を多く摂取することができ、バターを多く使用できることで風味がよくなり、とても助かっております。また、給食では大量の野菜を必要とするため地元のおいしく安心・安全な野菜を安く使用することができ、こちらもとても助かっています。

裏もあります！

い ち ご かい
一互の会 のみな様に、さ る まのかぼちゃをつか
 かぼちゃ団子 を作ってもらいました！



「一互の会」は、柳 原みわ子さんとお手伝いの方々と活動しています。道の駅に一互の会が作ったかぼちゃ団子やジャムなどが販売されています。

今月11月17日(木)の『かぼちゃ団子のシチュー』に一互の会の皆様が作ったかぼちゃ団子が入っています。写真のように、ハートや星などの小さな型で一つ一つくり抜いて丁寧に作ってくれています。手作りの愛情こもったかぼちゃ団子を食べられることに感謝して食べましょう！



今回、様々な地域の方々と紹介させていただきましたが、佐呂間町にはまだまだたくさんの方々が関わって給食ができています。これからも地域の方々と協力して、子ども達へ地域の食文化や産業を伝えとともに、生産者や食べ物への感謝の気持ちを育んでいきたいです。

